捜査部門のキャリアステップ例

（※１）麻薬取締部では他機関との人事交流などを行い、麻薬取締官として採用された様々なクラスの人が他機関でも活躍しています。

（令和7年度、他機関交流先）
- 厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課
- 警察
- 税関
- 地方厚生局の他部署
- 在外公館

新任者
（１～２年目）
- 捜査実務の習得
- 捜査補助
- OJT・集合研修などの受講

※新規採用研修、麻薬取締職員研修、任官前研修

- 業務の早期習得
- 体力、知力の向上

係員
（２～１２年目）
- 捜査（班員）
- 捜査に係る行政事務の処理
- 同僚・部下への助言

※係員研修
（高等検察庁中等科研修）

- 小地区、大地区両方での業務経験
- 体力、知力の向上

係長クラス
（９～１９年目）
- 捜査（現場班長）
- 捜査に係る行政事務の処理
- 部下の教育

※係長研修
（警部補任用科研修）

- 役割に応じた業務の実行
- 捜査業務以外の業務経験、又は他機関（警察、税関等）での業務経験（※１）

補佐クラス
（１５年目以降）
- 捜査（現場指揮）
- 捜査計画の立案
- 捜査に係る行政事務の管理
- 部下の管理

※補佐級研修
（高等検察庁高等科研修）

- 上司の補佐、部下のフォロー

幹部クラス
（２０年目以降）
（情報官）
- 他地区・他機関との窓口、統計関係
（密輸対策官）
- 税関との連携（主）、密輸事犯の処理など

※幹部研修

- 役割に応じた業務
- 様々な地区での勤務

課長クラス
（２３年目以降）
- 課内業務のとりまとめ、捜査方針の決定
- 他課、他機関との高度な交渉
- 課員等の管理、予算執行など

（調査総務課長）

- 適切な捜査指揮、予算執行、課内管理
- 様々な地区での勤務

部長クラス
- 人事管理
- 業務執行管理
- 対外的、全体的業務など

- 麻薬取締り全体を考えての行動

（図の見方）

役職等
（入省後の経過年数（目安））
（主な業務）
（期待されていること）